

Ground Loop Isolators

Shunt Thru 法による低インピーダンス測定時に生じるグラウンドループによる測定誤差を最小限に抑えるアクセサリの紹介です。



J2102B Common Mode Transformer

周波数 約 100Hz～6GHz

CMRR@10kHz 80dB

最大電圧（推奨） 3.3V

汎用性の高いコモンモード・トランスです。

数 100 $\mu\Omega$ 以上のインピーダンス測定で有効です。



J2113A Differential Amplifier

周波数 DC～500MHz

CMRR@10kHz 57dB

最大電圧（推奨） 1.9V

3kHz 以下でサブ m Ω インピーダンス測定が必要な場合に用います。入力電圧範囲が小さいので注意してください。



J2114A High Isolation Amplifier

周波数 DC～10MHz

CMRR@10kHz 100dB

最大電圧（推奨） 2.5V

超低インピーダンス測定に理想的なアイソレータです。

周波数帯域に制約があります。



PDN インピーダンス測定誤差は、同軸ケーブルのシールド抵抗に比例し、グラウンドループ・アイソレーターの CMRR に反比例します。グラウンドループアイソレータと共に、PDN ケーブルを用いる事で最良の結果が得られます。PDN ケーブルは一般的な同軸ケーブルに比べ、3 層シールドにより抵抗を低く抑え、柔軟性に富んだ、軽量のケーブルです。

仕様

特性インピーダンス	$50 \pm 2 \Omega$
使用温度範囲	$-55^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$
シールド抵抗	$1.37 \Omega/\text{m}$
曲げ半径	10mm
長さ	0.25m/0.5m/1m
コネクタ	SMA(m)-SMA(m), BNC(m)-SMA(m), BNC(m)-BNC(m), N(m)-BNC(m), N(m)-N(m), SMA(m)-N(m), SMA(m)-Mini SMP(m)



問合せ先

PDN 森 達彦

神奈川県川崎市麻生区

070-8385-1601

t.mori@pdn-z.com